

古関裕而記念館夏のサロンコンサート
古楽器による雅な世界

～バロック音楽と古関裕而～

出 演

18世紀前半バロック時代につかわれていた楽器8種類を奏でます!

《佐藤 崇志》

リコーダー、フルート・トラヴェルソ等

《岩成 玲子》

チェンバロ、ハープ

MEMO

♪当時は、フルートというと縦吹きのリコーダーを指すことが多く、横吹きのフルートは「横の」という言葉を添えてフルート・トラヴェルソと言われました。この楽器をちゃんと吹けることが貴族の嗜みとされておりました。
♪現代のピアノは弦を叩いて音を出すのに対し、チェンバロは弦を弾いて音を出すという違いがあります。今回は、仙台近郊の作家、木村雅雄氏によるフレンチタイプの楽器を使用します。



令和7年8月17日(日)

開演 14:00

会場：古関裕而記念館 1階サロン

料金：入館料 定員：80名(定員になり次第×切)

申込み：8月3日(日)午前9時より電話受付開始

※FAX、メールでのお申込は行っておりません。ご了承下さい。

【お問い合わせ】

古関裕而記念館 福島市入江町1-1
TEL024-531-3012 FAX024-563-5578

